

平成30年度授業改善推進プラン

東村山市立東村山第五中学校 第1学年

教科等	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策 【主体的・対話的で深い学び】
国語	知識及び技能	漢字練習を通して着実に漢字を身に付けている生徒が多い。一方、それらを語彙として理解したり、話す・書くときに自ら活用したりするまでには至っていない。	漢字をただ覚えるのではなく、並行して語彙力を高めるためのアドバイスをやる。辞書を使った意味調べも積極的に取り入れる。
	思考力, 判断力, 表現力等	小説の描写をもとに場面や心情を読み取る思考ができるようになってきた。話し合ったり書いたりする際に、自分の考えを的確に伝えることが苦手な生徒が多い。	多くの単元でパフォーマンス課題を組み込み、自分が思考・判断したことを様々な方法で表現できるようにする。
	学びに向かう力, 人間性等	授業中はよく発言をし、与えられた課題を意欲的に取り組もうとする生徒が多い。一方、既習事項を次の単元に活用する力が弱い。	学習内容を振り返り、今まで自分が身に付けたことを自覚する機会を設ける。さらにそれらを新しい単元や他教科に活用させていく。
社会	知識及び技能	知識理解の面では、授業で教えた内容をテストで答えることはできるが、資料活用の技能は多くの生徒が課題である。	授業の中で、様々な資料を多面的、多角的に考察する時間とっていききたい。
	思考力, 判断力, 表現力等	学年相応の思考・判断力は身につくつつあるが、表現力を伸ばすまでには至っていない。	自分の意見を書く。人の意見を聞く。自分の考えを深める。このような学習形態を増やしていきたい。
	学びに向かう力, 人間性等	授業においては、多くの生徒が課題を意欲的に追求しようとする態度が見られる。主体性を更に育てていきたい。	主体的に調べる、工夫をする、発表する時間を有効に設けることで、学びへの意欲を駆り立てたい。
数学	知識及び技能	計算問題や知識問題では、多くの生徒が理解し、問題を解くことができる。しかし、小学校の既習事項が定着していない生徒も一定数いて、習熟度別でも差がある。	授業の導入では、前時に学んだことを復習する。また演習の時間も取り入れ、反復練習をし知識及び技能の定着を図る。
	思考力, 判断力, 表現力等	文章の内容をポイントに分けて説明する。図や表を用いる。また、ICT教材を活用して視覚的に分かりやすい指導をしていく。	文章の内容をポイントに分けて説明する。図や表を用いる。また、ICT教材を活用して視覚的に分かりやすい指導をしていく。
	学びに向かう力, 人間性等	新しい環境で、新しいことを学ぶことを期待して、意欲的に取り組んでいる生徒が多い。しかし算数での苦手意識があり、意欲的に取り組めない生徒が一定数いる。	個別の演習だけでなく、学び合い教え合いの活動も取り入れ、「分かる・できる」という実感できる指導をしていく。
理科	知識及び技能	基本的な授業の内容は理解されているが、正確な知識を覚える努力が不十分な生徒も見受けられる。同様に観察・実験は熱心に取り組むが、正確な技能についての理解が不十分な生徒が見られる。	復習プリントを作成し、具体的に何を学習すればいいのかがはっきりさせ、生徒が学習をしやすいうように課題を与える。
	思考力, 判断力, 表現力等	実験の結果を考察し、言葉や文章で表現することが苦手な傾向にある。一部生徒は論理的な思考に拒否反応を示す生徒もいる。	ワークシートを工夫し、論理的な思考の過程を分かりやすく単純化するように工夫する。授業では机間巡視を多く行い、個別指導に力を入れる。
	学びに向かう力, 人間性等	科学的な事象に対する興味関心は高く、実験・観察にも積極的に取り組んでいる。提出物等もほとんどの生徒がきちんと出すことができる。	授業の内容を、できるだけ身のまわりの事象と関連付けて、興味を持たせていく。また、社会問題や環境問題にもつなげていき、科学技術のあり方についても考えさせるようにする。
音楽	知識及び技能	基礎的な音階の段階で躓く生徒がいる。	知識の面では机間巡視をし、個別指導に力を入れる。
	思考力, 判断力, 表現力等	意欲的に、強弱をつけて歌うことが出来る。鑑賞文では感じたことを素直に文章に出来る生徒が多くいる。	鑑賞する時のポイントをより分かりやすく伝えていくようにする。
	学びに向かう力, 人間性等	大多数の生徒は、積極的に学ぼうという姿勢が見受けられる。	合唱ではクラス全体で声を合わせ、心を通わす喜びを実感させられるように指導していく。
美術	知識及び技能	技能において、いかに良い作品に仕上げられるかを考えながら丁寧に作業に取り組んでいるが、知識の部分に関しては考查の結果を見ると、学習している生徒としていない生徒の差がある。	・ICT「書画カメラ」を用いて、実際の作業手順を見せることで視覚的に理解しやすくなるよう心がけている。
	思考力, 判断力, 表現力等	デッサンや絵の具の塗り方、色の作り方等、基礎・基本的な内容について時間をかけて取り組ませているので、個人差はあるが少しずつ力がついている。	・作業時の机を班活動の形で行うことで中々作業に取り掛かれない生徒でも友達とアドバイスし合える環境を作っている。
	学びに向かう力, 人間性等	数名の生徒を除き、全体的にはとても落ち着いてよく取り組んでいる。わからないことがあると積極的に質問をしたりと、感心意欲も高く感じられる。	授業後の振り返りカードを使い、わからないところは次の授業までに個々に返事を返すことでスムーズに作業に取りかかれるようにしている。

平成30年度授業改善推進プラン

東村山市立東村山第五中学校 第1学年

教科等	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策【主体的・対話的で深い学び】
保健体育	知識及び技能	技能を向上させるために、意欲を持って活動している生徒が多い。一方で、身体の動かし方のコツを身に付けることが難しい生徒もあり、技能に大きな差がみられる。	ICT機器を活用し、理解を深める。単元に合わせたコーディネーショントレーニングを行ったり、反復練習を重視しながら授業を進めていく。
	思考力, 判断力, 表現力等	指示に対して、きちんとやろうとする姿勢が見られる。お互いを高め合うためにアドバイスをしようにすることが少し不得意である。	記録会や技能テスト、学習カードでの振り返りを活用し、自己の課題を明確にさせる。また、生徒同士の話し合いの時間を多くとり、生徒主体で課題解決できるように指導していく。
	学びに向かう力, 人間性等	体を動かすことや、各運動に対する興味は高い。不得意な単元でも、積極的に取り組もうとする生徒が多くみられる。興味が高い分、気持ちが高まり、けじめがつかない部分もある。	「できた・わかった」という実感を多く得て、次の学習への意欲を高められるよう指導していく。授業規律を確立させ、安全に授業が行えるようにしていく。
技術家庭	知識及び技能	作業に関する知識はあるものの、手先を使う基礎縫いや加工技術が低下している。	ペアワークや優れた作品を紹介し、技術向上の糸口をつかませる。
	思考力, 判断力, 表現力等	安易に課題や作品を完成させる傾向がある。	作業のポイントや仕上がりを例示し、作業イメージをもたせる。
	学びに向かう力, 人間性等	住まいの環境や技術社会の問題を自身の生活に結び付けられていない。	授業で学んだことを生活の中で役立てて、柔軟な発想と豊かな生活を送る方法を考えさせる。
英語	知識及び技能	文字と発音の関係がとらえられない生徒いる。結果、単語や英文が読めず、覚えられず、書けない、という悪循環陥っている。	年間を通してフォニックス指導に力を入れる。また、グループやペアでの活動を通して学び合い、教え合いの場面を作る。
	思考力, 判断力, 表現力等	英語を積極的に使おうとする態度が見られない生徒が目立つ。日本語と英語の違いなど、言葉に興味を持っている生徒が少ない。	英語を使って会話活動に楽しもながら積極的に取り組めるような授業中の練習や帯活動を行う。
	学びに向かう力, 人間性等	日々の英語学習の積み重ねが出来ていない生徒が多い。授業中、私語が多い生徒、静かにしていても、話をしっかり聞けてない生徒が多い。	家庭学習指導を再度行うと共に、生徒の学習意欲を高めるプリントの作り方、発行の仕方、評価へのつなげ方を工夫する。
道徳	知識及び技能	倫理観について、概ね正しい感覚を持つ生徒が多い。ただし、正しい倫理観を理解しているが、実際の行動に表れない生徒もいる。	様々な角度から人格形成に役立つ思考を行い、実生活の中で正しい倫理観で行動できるようにしたい。
道徳	思考力, 判断力, 表現力等	教員の発問に対し、適切に考え、表現している。ただ、考えを深めたり、新たな発見を得たりすることは少ないように感じる。	紙とペンを使うのみでなく、様々な方法で思考を深めたり、適切に表現したりできる授業をつくる。
	学びに向かう力, 人間性等	学習課題に対して前向きな気持ちで取り組む生徒が多い。また、多くの生徒が他の生徒の考えを尊重することができる。	全ての生徒が安心して考えを表現できるよう、これからも教員が生徒の考えを尊重する姿勢を見せる。
特別活動	よりよい生活や人間関係を築くための知識及び技能	大半の生徒がよりよい集団生活を送るために必要な知識や技能を身につけているが、一部は集団活動の意義や役割を理解していない。	一部生徒にも根気強く指導を行うことで、集団生活の自分の役割を認識させていきたい。
	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考力, 判断力, 表現力等	所属する集団での話し合い活動を通して、思考・判断・表現力を高めているが、表現力が未熟な生徒も少なくはない。	グループ分けや人数分け、話し合う内容の精査を行うことで、表現力の向上に努めたい。
	主体的に学びに向かう力, 人間性等	自らの役割に責任をもてる生徒が多く見られるが、自ら課題を見出す段階にまで到達できている生徒は多くはない。	より良い集団生活を形成する一員であることに気づかせ、自己実現の手助けをしていきたい。
総合的な学習の時間	知識及び技能	個人で課題を設定する知識や技能が乏しい生徒がいる。具体的な例をあげながら、教員側でいくつかの課題を示しつつ、個人に選択させる形から発展させる形が良い。	1日勤労体験や職業調べなど、身近な問題を取り上げながら、キャリア教育内容と関連付けてを設定させていく。
	思考力, 判断力, 表現力等	ある程度の手順や、方法を示すと判断力をもって取り組むことができる一方表現力が乏しい生徒も少なくない。	日常的に個人や班活動で発表する機会をもてるようにする。
	学びに向かう力, 人間性等	将来のことを考える力は育っていない。コミュニケーションが苦手な生徒も多い。班面接を実施したり、班活動での人間関係づくりから始める必要がある。	キャリア教育と関連付けて、自分自身の将来を考える機会を多く設定していく。また個別に適切な助言も与えていく。